家長制度

宮沢賢治

青空文庫

火皿は油煙をふりみだし、炉の向ふにはここの主人が、大黒柱を二きれみじかく切って投げたといふふうにどっしりがたりと膝をそろへて座ってゐる。

その息子らがさっき音なく外の闇から帰ってきた。肩はばひろくけらを着て、汗ですっかり寒天みたいに黒びかりする四匹か五匹の巨きな馬をがらんとくらい厩のなかへ引いて入れ、なにかいろいろまじなひみたいなことをしたのち土間でこっそり飯をたべ、そのまゝころころ藁のなかだか草のなかだかうまやのちかくに寝てしまったのだ。

もし私が何かちがったことでも云ったら、そのむすこらのどの一人でも、すぐに私をかた手でおもてのくらやみに、連れ出すことはわけなささうだ。それがだまってねむってゐる。たぶんねむってゐるらしい。

火皿が黒い油煙を揚げるその下で、一人の女が何かしきりにこしらへてゐる。酒呑童子に連れて来られて洗濯などをさせられてゐるそんなかたちではたらいてゐる。どうも私の食事の支度をしてゐるらしい。それならさっきもことわったのだ。

いきなりガタリと音がする。重い陶器の皿などがすべって床にあたったらしい。

主人がだまって、立ってそっちへあるいて行った。

三秒ばかりしんとする。

主人はもとの席へ帰ってどしりと座る。

どうも女はぶたれたらしい。

音もさせずに撲ったのだな。その証拠には土間がまるきり死人のやうに寂かだし、主人のめだまは古びた黄金の銭のやうだし、わたしはまったく身も世もない。

青空文庫情報

底本：「宮沢賢治全集8」ちくま文庫、筑摩書房
　1986（昭和61）年1月28日第1刷発行
　1998年（平成10）年4月1日第16刷
底本の親本：「新修宮沢賢治全集　第十四巻」筑摩書房
　1980（昭和55）年5月
入力：こここす
校正：noriko saito
2005年2月23日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

家長制度

宮沢賢治

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/